

冬季の干潮に注意

冬季の大潮は1年を通じて潮位が最も低くなります。田辺湾には多数の岩礁や暗礁がありますが、この時期には普段は気に留めていなかったような浅所に船が底触する可能性がありますので、船舶の運航や係留には十分に注意してください。

田辺湾における最低潮位(推算値)は下記のとおりです。潮位が水深の基準面(0m:最低水面という。田辺湾では平均水面より110cm下)よりも下がってしまい、マイナス(-)の高さとなります。1月以降にも潮位がマイナス(-)になる日がありますので、船舶の運航にあたっては十分に注意してください。

なお、冬と夏には1日2回の干満差が異なる日潮不等(にっちょうふとう)という現象が見られます。田辺湾では、冬季の大潮は深夜に大きな干潮となりますが、昼の干潮ではそれほど潮位は下がりません。初夏には昼の時間帯が大きな干潮となります。

田辺湾においてマイナス潮位となる日時

平成21年12月

1日	23h14m	-3cm
2日	23h56m	-12cm
4日	00h40m	-15cm
5日	01h25m	-13cm
6日	02h13m	-3cm
30日	23h05m	-12cm
31日	23h51m	-23cm

平成22年1月

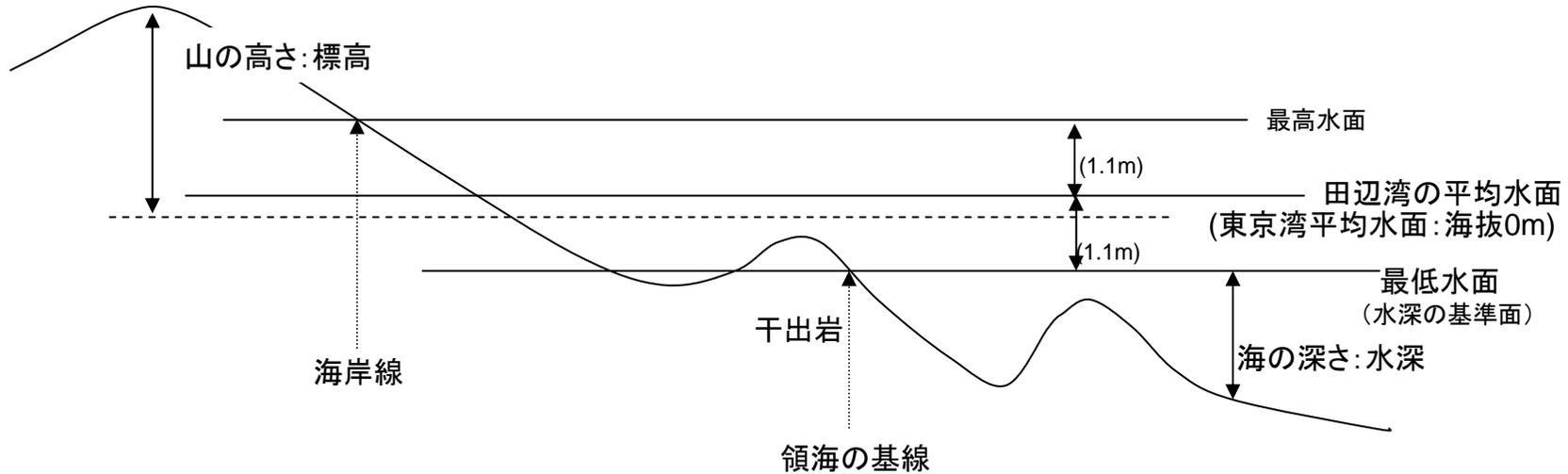
2日	00h36m	-10cm
3日	01h13m	-6cm
14日	23h33m	-7cm
16日	00h11m	-10cm
17日	00h47m	-9cm
18日	01h22m	-3cm
28日	23h07m	-2cm
29日	23h45m	-7cm
31日	00h21m	-8cm

2月

1日	00h55m	-4cm
12日	23h18m	-1cm
13日	23h54m	-4cm
15日	00h27m	-2cm

※冬期に潮位が下がりがちなのは、気圧が高く水温が低い、地球が(公転軌道の)近地点付近にあり太陽の影響がより強い、ためです。

最低水面とは、通常はこれ以上潮が下がらない水面のことをいいます。
しかし、例外的に年に何回か、最低水面よりさらに潮位が下がることがあります。



海の深さ＝水深：最低水面から海底まで

最低水面は各地でそれぞれ決められています
田辺湾の最低水面は平均水面より1.1m下です

山の高さ＝標高：東京湾平均水面からの高さ(海拔ともいう)

田辺湾の平均水面は東京湾平均水面より約10cm程度高い位置にあります

干潮時

神楽島南方灯標



満潮時

2009.12.2 23:50

- 12cm

